広済寺寺報

発行　浄土真宗本願寺派　福田山　廣済寺
〒933－0344　富山県高岡市笹川98　TEL(FAX)　0766－31－0096
E-Mail　info@kosaiji.net　ホームページ　https://kosaiji.net/

今号の内容

・漏電対策および外灯工事を行いました
・住職コラム
・千夏のきときと日記
・お寺発！謎解きゲーム！～第三弾～
・広済寺仏教婦人のつどいにて雅楽演奏会♪

今号の法語

花は　花は
花は咲く
わたしは
何を残しただろう

復興支援ソング
「花は咲く」より

法座のご案内

三月二十一日（火）　午後二時より

春季彼岸会

「真っ白な 雪道に 春風香る わたしは なつかしい あの街を思い出す」で始まるこの歌は、東日本大震災の復興支援ソングとして有名です。

作詞された映画監督の岩井俊二さんは「亡くなった人たち、生き残った人たち、あの震災を遠くから心配していた人たち～中略～それぞれが一体どんな想いをしているのか～中略～せめて僅(わず)かな片鱗でも書き留めることができたら」との想いで書かれたそうです。

歌で三回繰り返す「わたしは何を残しただろう」の言葉。「わたし」とは一体誰でしょう。ある方は、亡くなった人が私を励ます言葉なんだと仰いました。

震災から四年後、最後の繰り返し部分は「わたしは何を残すだろう」に変更されます。

今年は震災から十三回忌です。大切な方、たくさんの方に支えられ、励まされ、今を生きるわたしたちがいます。

～次頁に「花は咲く」QRコード～

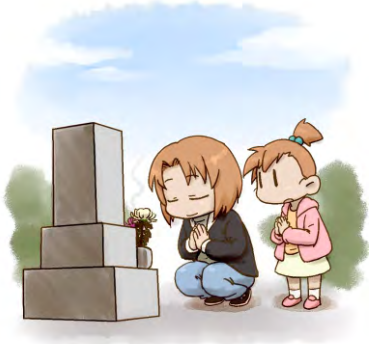
漏電対策
および外灯工事を行いました

今年度の護持役員会にて懸案事項になっていた漏電対策について、外灯工事も含め施工していただきました。

建物自体の老朽化もあり、昨年のお盆の際は雨風で停電。この地域は水道が来ておらず井戸水ですので、お墓参りの水もでなくなって大変ご迷惑をおかけしました。

また外灯については、ＬＥＤになりました。薄暗かった境内の駐車場は、ビックリするほど明るくなりました。

皆さんのおかげで広済寺は護持されています。いろいろな所に課題はあるのですが、一つずつ安心できる環境にしていければと思っています。これからも皆さんのご理解ご協力のほど、宜しくお願い致します。



住職コラム

三年前、令和二年三月のこの寺報に「無観客席での大相撲、春の高校野球中止、各種行事の中止または延期」等々の記事がありました。本年はどうでしょう。

プロ野球のワールド・ベースボール・クラシック、そして大相撲は満員御礼。高校野球は予定通り開催、等々。マスク着用のルールも医療施設等を除いては個人の判断に緩和するということで、ようやく少しばかり通常に戻ってきたようです。それにしてもサッカー然り、野球の熱狂ぶりはすごいですね。

そのような中で三月十一日を迎えました。東日本大震災から早十二年になります。いつまで経っても悲しみは消えません。多くの人々が悲しみを共有し、励まし続けております。

私どもはいつまで経っても喜怒哀楽が多く落ち着きませんが、それでもいつもにこやかに見守っていてくださる方がおられます。ありがたいことですね。

なまんだぶ　ありがとう。

合掌

「花は咲く」

発表当時の歌詞になります。

あれから十二年。時間とは不思議なものです。

QRコード

千夏（ちなつ）のきときと日記

ついに花粉症の私にとって辛い季節がやってきました。今年は例年より花粉の飛ぶ量は多いようで、初めて発症された方もおられるようですね。

私も三年前から発症したので、その経験から、花粉が飛ぶ前の二月より花粉症対策はとってきました。去年病院で処方された薬を早めに飲み始める。帰ったら服に付いている花粉を取り払う。うがい手洗いは念入りに。その他様々なことをしてみましたが、三月からついに発症してしまいました。

なぜこんなにも今年は一生懸命に花粉症対策をしていたのか。実は理由があります。去年病院で薬を処方してもらった際に先生に言われた一言。「これが今病院から出せる最後の強い薬です」。

それまで、一番弱い薬から飲み始め、効きがよくないために順番に強い薬を飲んでいました。薬だけに頼って、自身では対策は全くしていなかったのです。これで最後という言葉を耳にして、ようやく自分自身でも気を付けようと思ったのでした。

最後の強い薬は寝る前に一錠飲むのですが、薬の説明書をよく読むと効きが悪かったら二錠飲んでもいいと書いてありました。それが最終手段かと思うとなかなか二錠を飲む勇気が出ません。これが最後と聞くと急に心細くなる私でした。

お寺発！謎解きゲーム！～第三弾～

想定所要時間：30分程度

以前ご紹介した謎解きゲームに第三弾がでました！

スマホのLINE（ライン）アプリを使って無料で遊べます。

中高生向けです。もちろん大人も楽しめますが、やわらかい頭が必要です（笑）。小さな子どもたちも、親子で家族で、ぜひみんなで遊んでみてくださいね！

QRコード

仏教婦人のつどいにて 雅楽演奏会♪

コロナ禍に入り丸三年できていなかった「広済寺仏教婦人のつどい」を、ついに復活させることになりました。前回から実に四年ぶりという開催になります。

例年はお昼を挟む午前午後の日程でしたが、今回は昼食を控え、午後のみの形で行います。

毎回いろんな企画をしてきましたが、久しぶりの今回は、若手僧侶による雅楽演奏会を行うことになりました。

そもそも雅楽といっても、想像がつかないかもしれません。神社で流れていそうな、あの音楽のことです。「越天楽」という曲は、きっと皆さんも聞いたことがあるのではないでしょうか。

雅楽は三つの楽器を基本に成り立っています。今回の演奏会では、それぞれの楽器や雅楽の特徴などについても紹介させていただきます。

日程は、四月二十三日(日)午後二時～午後四時頃まで。内容は、お経・雅楽演奏・法話の予定です。会費は、一〇〇〇円をお願いできればと思います。美味しいケーキや飲み物を用意して、皆さんのご参加をお待ちしています！

お知らせ

令和五年

春季彼岸会
三月二十一日(火)
午後二時より
法話　当寺　若院

蓮門会
四月二日(日)
午後三時より
場所　麻生谷　西光寺

広済寺仏教婦人の集い
四月二十三日(日)
午後二時より
会費　一〇〇〇円

編集後記

先日お寺のすぐそばでイノシシの親子三頭が目撃されました。ニュースによれば砺波から福岡の山にかけて、平野部を駆け抜けていったようです。幸い人身被害もなく、イノシシも無事に山に戻ってくれたのでしょう。イノシシ親子の大冒険に、生き物ゆえの生きる強さを感じたことでした。

さて、社会はマスク着用の緩和等、いよいよ新たな段階に踏み出しました。コロナ禍のスタイルに慣れてしまった部分もあるのですが、それに留まってばかりもいられません。試行錯誤しつつも、また新たなスタイルを模索していかなければなりませんね。

イノシシのような真っ直ぐとした力強さを見習う一方で、社会に生きる人間だからこそ、自分たちばかりでなく、他を尊重していく柔らかな心も大事にしていきたいものです。